

ちば水土里支援会報

NO. 31

令和5年9月1日発行
特定非営利活動法人
ちば水土里支援パートナー



第29回「美しい農村環境写真コンテスト」
ちば水土里支援パートナー賞受賞作品「収穫」

—目次—

| | |
|---------------------------------|---|
| 第14回通常総会開催される | 1 |
| 理事長挨拶 | 1 |
| NPO法人活動実績 | 2 |
| 美しい農村環境写真コンテスト | 3 |
| 農業水利施設物価高騰対策支援事業の実施に向けた会員への協力依頼 | 3 |
| 寄稿 | |
| 知っていますか！！伝えられない災害があることを | 4 |
| 利根川流域調節池連絡会 | |
| 農業用ポンプの基礎知識と日常点検について | 5 |
| 株式会社朝水技研 | |

第14回通常総会開催される

第14回通常総会が、令和5年6月27日午後3時から千葉市中央区春日の鯨割烹みどり3階会議室で、会員総数131会員のところ、出席116会員（本人出席27会員、書面議決出席89会員、委任状提出者無し）で開催されました。

まず、近藤事務局員の司会で開会し、会員の出席状況の報告があったのち松田副理事長の開会宣言、杉野理事長の挨拶がありました。また、議長には司会者が出席者に諮り、小橋純会員が満場一致で選任されました。議事に先立ち議長より議事録署名人2名を選任したい旨の発言があり、藤井慎一及び亀岡健三の両会員を指名しました。

続いて議事に入り

議案第1号 令和4年度事業報告並びに決算について

議案第2号 令和5年度事業計画について

議案第3号 令和5年度の会費及び納入方法について

議案第4号 令和5年度予算について

議案第5号 令和5年度一時借入金限度額並びに借入れ方法について

議案第6号 令和5年度会費等の積立金並びに余裕金の預入先について

の6議案が上程されました。

第1号議案から第6号議案までは、事務局からの議案説明のあと質疑応答があり6議案とも賛成多数で可決されました。

以上で本会議に付議された議案は全て終了した旨の議長発言があった後、議事を終了しました。最後に松田副会長が閉会を宣言し午後4時に総会を終了しました。



通常総会開催状況

杉野理事長挨拶

令和5年度 第14回通常総会にご出席をいただき、感謝申し上げます。

昨年の総会で選任をいただき理事長をお受けして早くも1年が過ぎました。この間、皆様のご協力により円滑な運営をすることができ、改めて皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。

さて、農業は、私たちの生活に不可欠な食料を供給する機能等を有するとともに、農村は、農業の持続的な発展の基盤となる役割を果たしています。

一方で、農業・農村は、人口減少に伴う国内市場の縮小や生産者の減少・高齢化等の課題に直面しているほか、世界的な食料情勢の変化に伴う食料安全保障上のリスクの高まりや、気象変動等の課題への対応にも迫られ、大きなターニングポイントを迎えて、国では、食料・農業・農村基本法の見直しに向けた取り組みも始めたと同っています。

今、水土里支援パートナーの会員の豊富な経験は、農業・農村の持続的な発展に少しでも寄与することができると思いますので、ご協力をお願いします。

さて、本日の総会でご審議いただく内容は、6議案で、令和4年度事業報告及び決算について、令和5年度事業計画及び予算等についてですので、慎重審議をお願いします。

終わりにNPO水土里支援パートナーも14年目を迎え、世代交代も徐々に進んできました。継続的に支援活動を行うためにも、今後数年が組織としての頑張りどころかと思っておりますので、役員・会員の皆様の一層のご理解・ご協力をお願いします。

NPO法人活動実績（令和5年年4月1日～令和5年8月31日）

| 月 日 | 活 動 内 容 |
|----------|---------------------------------|
| 4月 1日(金) | 耕友会事務処理支援業務受託契約 |
| " | 安房中央ダム定期点検業務受託契約 |
| " | 千葉土地改良協会千葉支部事務支援業務受託契約 |
| " | 君津地域土地改良協会事務支援業務受託契約 |
| 4月13日(木) | 君津地域土地改良協会監査(袖ヶ浦市) |
| 4月18日(火) | 安房中央ダム堤体観測(南房総市) |
| 4月20日(木) | 千葉土地改良協会千葉支部理事会・監事会(千葉市) |
| 4月20日(木) | 君津地域土地改良協会第1回幹事会(木更津市) |
| 5月11日(木) | 千葉土地改良協会会議(千葉・市原両支部)(市原市) |
| 5月11日(木) | 君津地域土地改良協会第1回理事会(木更津市) |
| 5月19日(金) | 安房中央ダム堤体観測(南房総市) |
| 5月23日(火) | 千葉土地改良協会千葉支部通常総会(千葉市) |
| 5月30日(火) | 令和4年度事業監査(土地改良会館) |
| " | 令和5年度第1回理事会(土地改良会館) |
| 6月 2日(火) | 君津地域土地改良協会通常総会(木更津市) |
| 6月16日(金) | 安房中央ダム堤体観測(南房総市) |
| 6月27日(火) | 第14回通常総会(千葉市中央区) |
| 7月 3日(月) | 第29回「美しい農村環境写真コンテスト」審査会(土地改良会館) |
| 7月21日(金) | 安房中央ダム堤体観測(南房総市) |
| 8月 8日(火) | 第29回「美しい農村環境写真コンテスト」表彰式(千葉市中央区) |
| 8月24日(木) | 安房中央ダム堤体観測(南房総市) |

第29回「美しい農村環境写真コンテスト」

「美しい農村環境写真コンテスト」は、千葉県内の農村の緑豊かな自然景観や農村生活の様子など「誰もが住んでみたいと思う農村環境」をテーマに、千葉県土地改良事業団体連合会が主催者となり毎年実施しているもので、本年度で29回となります。

当法人としては、この「コンテスト」の開催主旨に賛同し、平成23年度から「ちば水土里支援パートナー賞」を設け、当写真コンテストを側面から応援しているところです。

本年度の審査は、7月3日（月）に応募数156作品（64名）を対象に、種清豊（たねきよゆたか）氏を特別審査委員（日本写真家協会会員）としてお迎えし、情報誌「水土里ネットちば」編集委員（県耕地課長、農地・農村振興課長、各農業事務所、県土連副会長）、当NPO法人杉野理事長等20名の審査委員で行われました。

審査の結果、「ちば水土里支援パートナー賞」は香取市の渡邊良一さんの「収穫」が選ばれ（表紙写真）、同時に「千葉県知事賞」等の各賞が決定し、知事賞には石毛忠男さんの「今年も豊作」が選ばれました。表彰式は8月8日に千葉市の「きぼーるアトリウム」において4年ぶりに行われ、8月9日から10日の間、入選・佳作など合わせて96点の作品が展示されました。



表彰式



千葉県知事賞 「今年も豊作」

農業水利施設物価高騰対策支援事業の実施に向けた会員への協力依頼

昨年度、ちば水土里支援パートナー（以下「NPO」）では、当初事業計画になかった農業水利施設に係る電力料金の高騰に関する業務支援を臨時総会で承認され実施しました。

農業水利施設物価高騰対策支援事業は、ロシアのウクライナ侵攻などにより電気料金が高騰し、土地改良区等の運営に大きな影響を及ぼしたため事業化されました。土地改良区等が管理する揚水機場、排水機場等の電力料金のうち、燃料費調整単価の増高分を50%以内で補助するという内容です。

千葉県土地改良事業団体連合会が事業主体となり実施され、補助金交付申請書類の内容確認等の事務の一部をNPOが受託し、11月から翌年2月にかけて、NPO役員、事務局員が中心となり実施しました。

支援業務の内容は、土地改良区、水利組合等から申請された書類（約150団体、1000カ所以上の施設）の内容確認です。書類作成に慣れていない小規模な土地改良区や水利組合も多く、空欄での提出や、必要な書類がない地区もあり、補助対象となるよう記載内容の確認と関係団体の、修正等を支援しました。

当NPOは土地改良事業に従事した土地改良区や行政機関の退職者等で構成されており、本業務ではこれまでの経験や知識を活用し、少しは土地改良区等に貢献できたものと思います。

令和5年度も引き続き、農業水利施設に係る電力料金の高騰に対する支援事業は実施される見込みです。

昨年度は急な支援要請であったため、NPO役員、事務局員で対応しましたが、本年度は会員の皆様の協力のもと実施したいと考えております。

つきましては、本支援業務と一緒に作業をしていただける方を募集しています。

昨年同様に用水期間終了後の11月ぐらいから、NPO事務所で1日4時間程度の申請書類の確認作業となる予定です。最低賃金程度の手当と交通費は支給できると思いますので、是非とも協力をお願いします。（事務局に9月末までに連絡をいただければ幸いです。）

【寄稿1】

知っていますか！！伝えられない災害があることを

利根川流域調節池連絡会
会長 渡辺 昭博

1. 概要について

利根川流域調節池連絡会は、利根川中流部鬼怒川合流点の田中調節池・菅生調節池内の農地を受益とする利根土地改良区・東葛北部土地改良区・菅生沼土地改良区（茨城県常総市）で組織しています。

この両調節池は、戦後の食糧増産のもと、旧満州やパラオ共和国等の引揚者が中心となり開墾に従事し、その後、ほ場整備事業を経て、優良農地となりました。

しかしながら、台風や大雨等で利根川の水位が増すと、下流域に河川災害が起きぬよう調節機能を発揮することになり、その結果、土砂等の流入など農地に甚大な被害を及ぼします。

そのため、農地や土地改良施設等が越流により被災した際の災害復旧制度や農地等の適正な利用に係る情報共有を図り、もって調節池内で農業を営む農家組合員が安心して営農を継続できるようにすることを目的として令和3年3月に設立されました。

2. 近況について

利根川流域調節池内耕作者の負担軽減のため、農林水産省及び千葉県に陳情を行いました。今後、国土交通省と災害復旧制度も含め、調整を図ってまいります。



田中調節池への越流状況（令和2年10月 台風19号）

3. おわりに

近年、河川管理者が主体となつて行う治水対策に加え、氾濫域も含めて一つの流域としてとらえ、その河川流域全体で水害を軽減させる流域治水という考え方が聞かれるようになってきました。

利根川の河川災害が起きぬよう、調節機能の役割を有していることを農家組合員は十二分に理解しておりますが、一度調節機能を発揮すると、その災害復旧に多大な労力と費用が掛かることとなります。この問題を多少なりとも共有して頂ければ幸いです。



受益地水田（田中調節池）の湛水状況（ 同上 ）

【寄稿2】

「農業用ポンプの基礎知識と日常点検につきて」

株式会社朝水技研

代表取締役 山ノ井基晴

この度は貴会報への寄稿をさせて頂く機会を得ましたので弊社のPR及び首題テーマについて書かせて頂く事と致します。

弊社は令和2年（2020年）創業の現在4期目の若い会社ですが、「手掛けた設備は除却資産となるまでお付き合いさせて頂く」を企業理念とし営業活動させて頂いている会社であります。

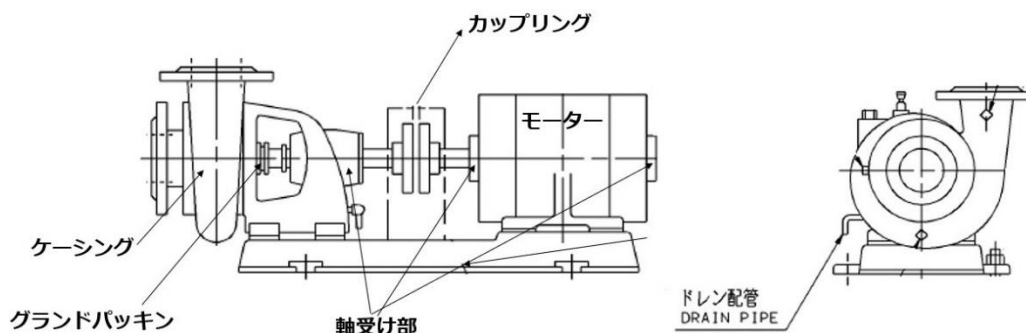
また、在籍技術者に於いても技術士×1名、監理技術者(機械・電気・管)×3名、他多数の専門技術を持った技術者兼営業人員が在籍している会社であります。

特に営業活動している中で、首題に掲げてあります「農業用ポンプの基礎知識と日常点検」についてお問合せ頂く事が多いためこの機に乗じ簡単ではございますが、灌漑期初点検及び日常点検項目を明示致します。

灌漑期初点検及び日常点検項目

- 1・吸水槽清掃
 - 1) ポンプ運転前には必ず吸水槽の清掃を行うこと
- 2・主ポンプの状態確認(陸上ポンプ)
 - 1) カップリング下部にゴムのカスが無いか確認
 - 2) ドレン配管の詰り確認
 - 3) 軸受け部の異音、発熱が無いか確認
 - 4) グランドパッキン部より毎秒1滴程度の水が出ているか
- 3・制御盤の状態確認
 - 1) 盤面表示灯に異常が無いか確認(主ポンプ故障等)
 - 2) 制御盤に発錆による穿孔が無いか確認

各部名称図



以上、簡単では御座いますが少しでも皆様の管理されておられます施設の維持管理の御参考になれば嬉しいと考えております。

最後に千葉県農業農村整備に少しでもお役にたてます様一生懸命努力してまいる所存であります故、皆様のご指導ご鞭撻を引き続きお願い申し上げますと共に、水土里支援パートナー様の益々のご発展、ご活躍されます様心よりご祈念申し上げます。

新会員の紹介

当法人に新たな会員が入会しましたので紹介いたします。

- ・個人会員 立石雄三（千葉県土地改良事業団体連合会）
- ・団体会員 利根川流域調節池連絡会

<編集後記>

新型コロナウイルス感染症の対応方法は大変りましたが、まだ完全に収束しておらず出口が見えていない状況です。コロナ以前はNPO法人の通常総会の後「意見交換会」を設け、会員同士が和やかに懇談をしたのですが、コロナの影響で過去3年は「意見交換会」は行っていませんでした。今年は通常生活に戻るということで4年ぶりに「意見交換会」を行いました。以前より参加者は少なかったですが、久しぶりに一堂に集まってワイワイといろいろな話をして楽しい時間を過ごすことができました。

暑さのせいではありませんが若干会報の発行が遅れましたが、新たに団体会員になっていた利根川流域調節池連絡会様からは調整池の水害の問題及び賛助会員の株式会社朝水技研様からはポンプの点検について時宜を得たご寄稿を頂きました。会報は年2回発行していますので、近況など会員の皆様のご寄稿をいただければ幸いです。

今年の夏は大きな水害が起こっている地域もありますが、千葉県は雨が少なく、「地球沸騰」と言われてもおかしくないような年寄りには厳しい猛暑日が続いています。まだまだ危険な暑さが続くと思いますので熱中症などに十分気をつけてお過ごしください。

会員の高齢化が進み会員数も減少傾向の中、会員の皆様には日頃から当NPO法人に対してご支援ご協力を頂いていることを感謝申し上げますとともに、今後ともよろしくごお願い申し上げます。
(hannimutatuo 記)

ちば水土里支援会報 第31号 (発行日 令和5年9月1日)

発行：特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー(発行責任者：杉野宏)

会員：正会員 113名・19団体 賛助会員 16団体

事務局：〒261-0002 千葉市美浜区新港249番地8 千葉県土地改良会館別館

Tel 043-241-1755 <http://npochiba.boj.jp/npo/npo>

銀行口座番号：千葉銀行本店営業部 3908901 特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー
理事長 杉野 宏